

## 今日は卒園・卒業・終了式です。

ご卒園・ご卒業そして学年終了おめでとうございます。

特に、ご卒園・ご卒業にあたっては、親の思いは格別なものがあると思います。

卒園・卒業式という人生の節目において、親が思う気持ちは様々なことと思います。

大きく成長した我が子を誇らしく思う気持ち、また一つ親の手を必要としなくなる寂しさ、これまでの子育てに伴う葛藤や苦労・・・



晴れの日の子をいつもにまして眺めていたいそんな気持ちではないでしょうか。

そんな保護者の子どもに対する思いを寄せた手紙がありましたので、ご紹介します。

6年前の4月、この会場(体育館)で入学式を迎えた日の事を覚えていますか? 6歳だったあなたはほとんど覚えていないでしょ? お父さん、お母さんは覚えていますよ。小さい背中に大きなランドセルを背負って入って来た玄関、自分の靴箱と一緒に探し、履いた小さな上靴。ちょっと緊張した顔で教室に入り、担任の先生はどんな先生か顔を見てホッとしたのか、ドキッとしたのか...先に会場で待っていた親の心配をよそに並んで入って来た我が子を見て、ホッとした日の事を今でもはっきり覚えています。学校までの道のりも歩いて通るのか心配だったけどお兄ちゃん、お姉ちゃん、近所の友達と通った小学校とみいよいよお別れ。先生達、友達と勉強した教室、1年生の時には広く感じた教室も6年生になると狭く感じたね。みんなで遊んだホール、本を読んだ図書室、スポーツをした体育館・グラウンド、プール、美味しかった給食、楽しかった友達、先生、事務の先生や給食のおばさんとお喋り、時には怒られたり、けんかしたり楽しかった事、くやしかった事色々あったね。1年生の時はずらりに向かって走ったら良いかわからなかった運動会も6年生では低学年の子の面倒を見ている姿をたのむく感じられたり遠足も長い距離を歩くようになったりお弁当箱も小さかったけど沢山食べるようになったから大きなおにぎり2個と唐揚げ3個から増量5個になったり...学習発表会も先生から指示されて動くだけでなく、自分たちで考えて動いて道具も自分たちで出したり色々な係りをやったり、宿泊研修や修学旅行、少年団活動やクラブでの事沢山の事があった小学校生活の6年間。入学した時にはこんなに沢山の思い出ができるとは想像していなかったね。手のかかるあなたに根気よく教えてくれた先生との事、泣いたり、笑ったり、遊んだり共に学んだ友達との事、沢山の宝物ができた6年間。その宝物を胸に卒業です。今まで見守ってくれた先生、事務の先生、管理人のおじさん、給食のおばさん達に感謝をし卒業です。これから中学、高校...いや大人になっていくあなたにこれからも時には叱ったりアドバイスする事があるけど、それも愛情。あなたが大人になって一人で歩んで行けるようにいつも考えているからこそ...私達、親はいつでもあなたの親であり応援団です。こんなに成長し時々生意気な口をきくようになったあなたをたのむいと感じる今日この頃いつも思っはいても口にして言う事はありますが今日 面と向かって言いますね

「生まれてきてくれて ありがとう。そして卒業おめでとう。」

この最後の言葉は素敵ですね。時々、子どもたちに、この親の思いを伝えていくことも大切ですね。

## 離任のご挨拶。

平成26年度末で、下記の教員が本校を離れることになりました。

レインボー学園在職中は温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。保護者・児童・生徒の皆様方の益々のご健勝を祈念いたします。

(退職職員)	小低部1年2組担任	大塚 明子	小高部5年1組担任	内田 有香
	小高部6年2組担任	渡邊 美奈	中学部1年担任	川田 紀行
	図書司書	後藤 ゆかり		